



# ADRC Highlights

Vol.54

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

September 2, 2002

## ▶ イラン北西部地震被災地調査報告

羽鳥友彦 ADRC 主任研究員は、7 月末から 8 月第一週にかけて人と防災未来センターの 2 人の研究者とともにイランを訪問しました。2002 年 6 月 22 日朝に発生したイラン北西部地震の被災地調査と現地防災機関（国際地震工学・地震研究所、イラン内務省自然災害対策委員会、カズビン州政府、イラン赤新月社など）との情報交換が主な目的です。

被災地の村々はテヘランの西 250km 程の山間に点在していました。被災直後の災害救援活動は地域コミュニティやイランの防災関係諸機関によって速やかかつ効率的に実施されました。地震のマグニチュードは 6.3、犠牲者 230 人、負傷者は 1,300 人に達しました。11 万人が被害を受け、経済的な損失は総額 3 億ドル超と見積られています。日干し煉瓦建築は特に震源付近では壊滅的なダメージを受けていました。

イランの住宅公団は 11 月上旬の住家再建を目指して努力中です。これらの村の標高は 2000m 以上あり、冬期には積雪があります。訪問時は真夏でしたが、テント生活の避難民にとって夜間の冷え込みは既に厳しく、毛布は必需品でした。



地震により全壊したビル  
(震源近くのチャングレー地域)

学校に通う子供たちをはじめ多くの人々はイランが地震多発国であると認識しており地震発生時の危険回避行動についての知識もありました。話を聴いたテント生活の避難民は家を建て直す時は地震に強い設計にする、と言っていました。防災に関する知識や啓蒙は浸透しているようですが、まだ行動にまでは結びついていない例が多いようです。危険と知りつつ経済的理由あるいは根拠のない「自分は安全だ」という過信から地震に弱い家に住み続けている状況は、日本とまったく同一です。人々の防災意識を高めるために粘り強い努力を今後も続けていく必要があります。

特に首都テヘランは地震活動の活発な地域に位置しています。幸運にも過去 150 年以上にわたり巨大地震に襲われることなく過ごし、結果として都市化が急激に進み続けてきました。来るべき巨大地震に対する対策が準備中であり、この面では阪神淡路大震災の経験がイラン・日本の防災協力に役立つと思われます。  
(主任研究員 羽鳥友彦)

## ▶ ADRC 客員研究員レポート

### □ クン・ソカ(Khun Sokha)、カンボジア

2002 年 7 月 30 日に ADRC の客員研究員としてカンボジアから来ましたクン・ソカです。カンボジアは、洪水、干ばつ、暴風雨といった自然災害が非常に多い国です。2001 年も、2000

年の大きな災害からの復興途上であったにもかかわらず、洪水と干ばつによる大きな被害を受けました。

2000 年の洪水は、カンボジアで起きた 1961 年、66 年、78 年、84 年、91 年、96 年に大被害を与えた洪水を上回る甚大な被害を与えました。総被害額はおよそ 161 万米ドルに及び、347 名の死者がでました。一方、2001 年の洪水および干ばつでも、多くの建造物や作物、人々の健康に被害が出ました。洪水による被災者は 14 地域の 2 万人に及び、総被害額は 36 万米ドルでした。



このような状況に見られるように、カンボジアでは災害によって、貧困緩和のための政策が滞るなど政府の開発プログラムにも影響を与えています。災害対策への対応能力を高めるために、国王令によって、国立災害対策委員会 (NCDM) の役割が新たに決定され、補則によって NCDM の機構改革が制定されました。

NCDM は国家の災害対策の責を担う機関ですが、首相と省庁協議会に直属しています。NCDM は、長官、第一副長官、事務局長によって構成される執行委員会によって運営されており、首相（現在はフンセン首相）が長官を務めています。また NCDM の構成メンバーは、17 の省庁の大臣です。国王令補則によって、すべての政府省庁は、前向きに NCDM の活動に参加し協力することと決められています。

私は、6 ヶ月間の研究活動で、日本の経験について学び、また ADRC のメンバー国との災害情報の共有を積極的におこなっていきたくと考えています。さらに、災害対策についてもいろいろ学びたいと考えており、特に ADRC のホームページ上で公開されているインターネットベースの災害 GIS システム「ベンテン」についても知りたいと思っています。

6 ヶ月の滞在で様々な経験や最新の技術情報を含む知識を得て、カンボジアの防災対策をより向上させることができるように、頑張りたいと思っております。よろしく願いいたします。  
(カンボジア NCDM 第一副長官補佐兼緊急支援・復興課長 クン・ソカ)

## ▶ アジアにおける最新災害情報

### □ 頻発する洪水—中国

6 月、7 月、8 月にわたり、激しい雨が続いたため、中国では広範な地域で洪水や地すべりの被害が出ています。南西部の雲南省では、甚大な地すべりと泥流によって、100 万人近くが被災し、106 名が亡くなりました。また、中央部の湖南省では、8 月初旬に台風 Beimian による被害が出ていたところに、8 月 11 日から続いた豪雨によって洪水被害が拡大し、地域の広い範囲が浸水などの被害を受けました。500 万人余りが、かなりの被害を受けたと報告されています。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHD ビル 3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)